



鶴ヶ島第二小 学校だより

《学校教育目標》

- ・思いやる
- ・進んで学ぶ
- ・体をきたえる

令和7年8月28日
第6号

一歩 前へ！

校長 山崎 真由美



さあ 2学期スタート！

長かった夏休み期間を終え、子ども達の声が学校に戻ってきました。

子ども達の声がそこかしこから聞こえてくると、学校が生き返る感じがします。夏休み期間、大きな事故の報告はなく、どの子どもも楽しく夏休みを過ごしてきたことが表情からも伝わってきます。さまざまな体験をして、少し成長した子ども達の姿がまぶしく感じた始業式でした。

さあ、2学期のスタートです。2学期は、子どもたちが楽しみにしている運動会、修学旅行、宿泊学習等、大きな行事が予定されています。学力も体力も、今まで以上に力を入れ「実りの秋」となるよう、教職員一同がんばってまいります。様々な活動の中で、子どもたちがさらに大きく成長するとともに、保護者・地域の皆さまの前で活躍する姿をご期待ください。



★★PTA 夏休み美化活動（中止でしたが）ご準備をありがとうございました★★

8月23日（土）のPTA 夏休み美化活動は、熱中症警戒アラートが発令され、暑さ指数も31（危険）の予報があったため、やむなく中止とさせていただきました。

前日までPTA 本部＆運営委員の方々には、綿密な計画と準備をしていただいていた皆様、PTA 本部＆運営委員の皆様、ありがとうございました。心より深く感謝申し上げます。



9月の行事予定〔長月・ながつき〕（8日以降）



8	月	読書	20	土	
9	火	学校運営協議会、2学期のびのび算数教室開始	21	日	
10	水		22	月	読書/読み聞かせ
11	木	たてわり活動	23	火	秋分の日
12	金	PTA 本部会	24	水	クラブ
13	土		25	木	ロング昼休み、1・2年生校外学習予備日（お弁当）
14	日		26	金	1～5年生4時間授業（給食・清掃あり）13:35下校
15	月	敬老の日	27	土	
16	火	児童朝会（保健委員会）、第2回せらぶらす（高）	28	日	
17	水	クラブ	29	月	運動会練習開始
18	木	5年生校外学習（SKIP シティ）	30	火	お話朝会
19	金	特別金曜日課（3～6年）14:40下校、1・2年生校外学習（こども動物自然公園）15:00下校			



鶴二小ホームページのQRコードです。

《鶴ヶ島市の基本的な生活習慣の合言葉》

早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち

鶴二ぐんぐんノート1・2冊目終了…現在20名

3・4冊目終了…現在5名

読書30冊賞…現在3名

校長室の廊下には、鶴二ぐんぐんノートが終了した子の名前が掲示してあります。冊数が進むごとに色が変わっていきます。まだピンク（5・6冊終了）は出ていません。1号は誰になるでしょう…？



まだまだ暑い日が続きそうです…生活リズムを整えてください

夏休み中の快適な環境から、学校での生活時間が長い生活に戻ります。睡眠、水分補給、食事等、暑さに負けないように生活リズムを整えてください。特に新学期が始まってしばらくの間は、知らず知らずのうちに疲労がたまっていきます。睡眠時間をしっかり確保できるよう、ご家庭での声掛けをよろしくお願いいたします。

学校の代表として広島に派遣されました

鶴ヶ島市の『広島市平和記念式典児童派遣事業』により、6年生、中鶴 進二郎さんが、市内8小学校の代表児童と一緒に広島に行き、式典に参加してきました。23日（土）の平和記念式典児童派遣事業参加者報告会では、市民の皆さんに向けて学んできたことをしっかりと報告できました。

始業式では、報告会の時の作文を全校に向けて読んでもらいましたので、紹介します。

【願う平和 そして創る平和へ】 6年 中鶴 進二郎

皆さんは、平和について考えることはありますか。僕は少し前までほとんど考えることなく過ごしていました。ニュースでロシアとウクライナの戦争を見ても、遠い国の出来事で「自分との関わりがない」と画面が変わると関心が薄れていました。5月くらいに広島平和記念式典参加の話があった時も、初めは興味が持てませんでした。しかし『8時15分』という美甘章子さんの本を読み、戦争や広島の前爆投下についてもっと知りたい、勉強したいという気持ちが応募するきっかけになりました。



今回広島に派遣していただき、一番衝撃を受けたのは前爆ドームです。なぜなら前爆投下から80年経っても被爆した状態で残っていたからです。原子爆弾による熱線の影響で、市内の建物は大きな被害を受けました。前爆ドームには爆風がほぼ垂直に働いたため、ドーム部分の鉄骨が残り、現在の姿になったそうです。それはまるで原子爆弾の悲惨さを忘れてはいけなく、と静かに人々に訴えかけているかのようでした。また、広島市平和記念公園では、次々に人が訪れ、静かに祈っている様子がありました。

広島平和記念資料館で、僕が特に印象的だったのは、しんちゃん（鍔谷伸一くん）の三輪車です。タイヤは溶け、鉄の部分も溶けて変形しています。しんちゃんは、この三輪車で遊んでいるときに被爆して体中に大やけどを負い亡くなりました。お父さんはしんちゃんが寂しくないように、この三輪車と一緒に埋葬したそうです。他には被爆した弁当箱がありました。弁当箱の中身は熱線で炭化し、熱で穴があいたり、曲がったりしていました。持ち主の折免 滋さんは、楽しみにしていたお弁当を食べることなく亡くなりました。そこから逃げることもできず、きっと何が起こったのかもわからなかったと思います。

一発の原子爆弾により平和な日常が壊され、1945年12月までに約14万人以上の子供や大人が苦しんで亡くなりました。あまりにも街の被害が大きく、正確な人数はわかっていないそうです。僕はこれらを目にして胸がギュッと苦しくなり、もう見たくないと目をそむけたくまりました。しかし途中から「なぜ広島に来たのか」と考え直して、絶対に最後まで見て、覚えておこうと思い見学しました。

僕は本や写真を見るだけでなく、これらを実際に広島に行き目にするすることで、前爆の被害の大きさや悲惨さを知ることができました。そして前爆投下から80年経ち、戦争や原子爆弾の被害について勉強する機会があって本当によかったと思いました。

そしてこの貴重な体験を決して忘れず、自分の周りの人やこれから出会っていく人々に伝えること、それをつなげていくことが大切だと思います。一つの小さな行動が、誰かの意識を変えたり、役立ったりすることがあるはずだと信じています。ここにいる皆さんも周りの人のために少しでも行動することで、これからの未来の平和につながると思います。この世界のどこでも戦争が起きることがなく、平和な未来が実現しますように。